



上浦小だより

今治市立上浦小学校
コミュニティ・スクール
2月号
令和8年2月2日



家庭学習のすすめ～チャレンジ「おうちでこつこつ」～

校長 菅 征永

2月3日（火）は節分。そして、4日は立春です。春が訪れる喜ばしい日として、愛媛県では、中学2年生を主役として「少年式」行われます。体感的には「冬真っ只中」ですが、我が家家の梅の木は花を咲かせ、春を感じるようになりました。



2月3日（火）朝会「校長講話」より

家庭学習は、学校で学んだことをさらに自分の力にする大切な時間です。短い時間でも、毎日机に向かう習慣が見に付くことで、勉強が分かったり見に付いたり、大人になっても役立つ頑張る力や集中する力も見に付きます。学ぶ力を付けることが、家庭学習の役割です。

学年×10分を目安にしていますが、おうちでどれくらい勉強しているでしょうか？最初は10分からでもかまいません。漢字や計算、音読、読書、上浦っ子の目を書くなど、小さなことの積み重ねが大切です。

みなさんがいつも目にしている校訓碑と二宮金次郎さんの像です。校訓碑には、校訓「自ら学ぶ」が彫られています。その字を書いたのが、村上三島さんです。瀬戸崎村（上浦町）で生まれました。三島さんは、字を書くことがとても上手で、字を書く仕事（書家）をしていました。三島さんは、お弟子さんに「半紙 20 万枚書いて、やっと書の入り口だ」と話すくらい練習していました。まわりの人からは「マラソンランナーのようにこつこつと頑張る人だ」と言われていました。

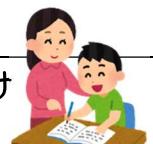


二宮金次郎さんも12才のころ、お父さんが病気になってしまい、代わりに働き始めました。13才のとき、お父さんが亡くなり、働きながら勉強をしました。昼は仕事をして、夜に勉強をするくらいがんばり屋さんだったそうです。

大谷選手もめあてを決めて『こつこつ』続けていたそうです。大谷選手は高校生のときに『夢を叶える作戦マップ』を作成し、夢を叶えるために『やるべきこと』をたくさん書きました。その中に、「読書」や「あいさつ」もありました。大谷選手も野球だけではなく、こつこつと勉強を続けたのです。

村上三島さんや二宮金次郎さん、大谷選手に共通するのは「こつこつ」です。「漢字、計算」「音読」「読書」「上浦っ子の目」など、なんでも良いのです。おうちで毎日こつこつ頑張る勉強を決めてください。その「こつこつ」が、いつかみんなの大きな夢を叶える力になります。

おうちの方の声掛けや励ましが、児童の脳を活性化させ、机に向かう動機付けになります。少しでも成長した部分を見付けて、ぜひ言葉にして伝えてください。



おすすめ!家庭学習「三つの約束」

- 1 時間と場所を決める (例 夕食前30分 リビングのテーブル)
- 2 テレビ・スマホはオフにする → 集中するため
- 3 確認する

「頑張ったね。」「やるじゃん。」などの声掛けがご褒美です。 → 少しでも頑張ったところを見付けられる
かどうかが、大人の力量です!

